

道東各地域で 草刈り奉仕

武ダ技建創

【帯広、釧路、網走】武ダ技建創（本社・札幌、武田幹郎社長）はこのほど、道東各地域で草刈りなどのボランティア活動を展開した。

同社は毎年この時期、全道各地で同様の社会貢献活動に取り組んでおり、今回は5月21―23日に実施した。

21日は8人が参加し、清水町立清水小の校舎とグラウンド周辺約400



0平方メートルの草刈りをした。写真。学校関係者からねぎらいの言葉を掛けられた責任者の三浦隆係長は「努力が報われた」と話していた。22日は釧路町の富原小でビニールハ

ウスの復旧作業を行ったほか、敷地内約800平方メートルに生えた草も刈り取り、富原中では屋上の目地の草や泥などの除去に取り組んだ。

23日の活動には10人が参加。大空町の女満別小でグラウンド周辺約4000平方メートルの草刈りに汗を流した。運動会では父母席にもなる場所で、関谷英樹校長は「運動会前に芝生をきれいにさせていただき、本当にありがたい」と感謝していた。